

て
ん

轉

ぎ
よ
う

教

3
2021
Mar

信のとびら

五十展轉隨喜の功德

3月のご奉公のすすめ

3月のお寺の行事予定

1月のご奉公日誌

寒参詣、成人式ほか

日晨上人から学ぶ

「自他の歡び」 佐藤応昇

今年度のご奉公テーマ「教化のすすめ」

私によるこび

次世代の皆さんと共に

トラブルから信心を教わった

こどもたちの会

妙法口唱によって生きる喜びを発見する



佛立本旨講妙應寺

モデル：チロくん
(長野教区 滝沢弘子さん)

ごじゆうてんでんずいき ぐどく
五十展転随喜の功德



随喜して伝えることが肝要

「五十展転随喜の功德」は、
法華経随喜功德品に説かれる
御法門です。

「仏の滅後において法華経の
ご法門を聴き随喜した人が喜
んで人に伝え、それが次の人
に展転して、また次の人に伝
えるという具合に次第に展転
して五十人目にもなる時、聞

いた教えの内容は第一番目の
人が聞いて伝えたものより、
はるかに減じているが、そ
れでもそれを聴いて随喜する
五十番目のひとの功德は莫大
なものである」という内容で
す。

日蓮聖人はこのご法門によ
って、仏の滅後末法に生まれ
る衆生は法華経の有難いこと

を聴いたらそのまま素直に信
じ、お題目を唱えることによ
って一切の功德をいただくこ
とが出来るといふ御法の力を
受けとられて、信心の仕方を
説き弘めてくださいました。

たとえ僅かでも伝える
五十展転とはつまり、妙法
口唱の信心の尊くありがたい

ことを、次から次へと伝え広めてゆくことです。我々佛立本旨講信徒一同も、この信仰の妙味は御題目口唱のけっこのうさを周囲の方々に伝えるところにあることを思い、ご弘通ご奉公に励みましょう。

お講のライブ中継は

信心増進のチャンス

昨年末から、朝参詣の様子や甲のお講の参詣情景をライブによってライブ中継できるようになりました。1月末で百七十名ほどの方がライオンライブに登録しています。コロナ禍で、外出を控えている方

でも、ご自分の連合だけでなく、すべての連合の甲お講に参詣することができます。各連合のご利益談を聞くこともできますし、お導師のご法門を聴聞させて頂くことも出来ます。

他連合での御利益談は

随喜転教のスタートライン

お講で発表された体験談やご利益談は、その日の内に文章に起こして、当日参詣できなかった方にも配れるよう手配しています。皆がご奉公で頂いた喜びを他に伝えることが「五十展転随喜の功德」で

すから、聞いた喜びの体験談を一人でも多くの方に語り伝えましょう。それこそがご弘通ご奉公です。

信の扉で何度もお伝えしていますが、YouTubeユウチューブ 妙應寺チャンネルを周囲に弘めること、Twitterツイッター で拡げて妙應寺チャンネルをより多くの方に知ってもらうことなど、これもご弘通ご奉公です。

今一度、「五十展転随喜の功德」という御法門を見つめ考え、自らのものとして、人に勧めるご奉公に喜びを見つけてみましょう。

3月のご奉公のすすめ

次年度のご奉公テーマ「お参詣」

来月から始まる新年度のご奉公テーマは「参詣」です。「寂

光の道しるべ」には、「お寺参詣に精進すればさまざま喜びが頂けます」さらに「お講参詣は菩薩行の実践です」とあります。参詣将引しょういんは人を幸せに導く功德行です。自分一人の幸せを願うだけでなく、家族や身近な方々の幸せを願ってお寺参詣・

お講参詣に励む決意を持ちましょう。

何時収束するか分からないコロナ禍ですが、お寺では、スマートフォン活用の新しいご奉公様式を進めています。新しいことにもチャレンジして各自が無理のない範囲でのお参詣・ご奉公をさせていただきましょう。

今月の「随喜轉教」

甲御講のご利益談や御導師の御法門をまとめ、「お講席の風景」と題した文章が配布されています(9ページ参照)。これ

を活用して、お参詣出来なかつた方にも御講参詣の喜びを伝えましょう。ご信心の喜びが広がる事がご弘通ご奉公です。

四月の

「ご奉公のポイント」

開講本旨再興日尚上人御祥

一、月法要・佛立本旨講創立記

念式典

4月18日(日)7時より開講本旨再興日尚上人御祥月法要・佛立本旨講創立記念式典が朝の勤行に併せて奉修されます。その後、代表者が六角堂に移動し日尚上人御靈廟で、この一年間のご奉公を奉告いたします。

なお、当日の三密回避のため、分散参詣期間として、連合毎にお参詣をお願いします。

10日(土)多摩、11日(日)渋谷港、12日(月)都中里、13日(火)杉並、14日(水)目黒世田谷、15日(木)品川、

3月の寺内予定

日 程	行 事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日 月	開講本旨再興祈願総講	7時
6日 ㊦	運営会議	9時半
	春季彼岸御塔婆・御回向締切	
7日 ㊥	高祖大士御命日総講（れんげまつりは中止とします）	7時
13日 ㊦	連合幹事会	中止
	後続者育成連絡会	中止
14日 ㊥	聞信寺団参バス申込締切	中止
17日 水	開導聖人御命日総講	7時
	春季彼岸朝参詣週間（17日～23日）	
20日 ㊦	春季彼岸総回向法要	7時
	同上（六角堂、代表参詣）	10時半
21日 ㊥	開講本旨再興祈願口唱会	中止
	若い人の口唱会	中止
25日 木	門祖聖人御命日総講	7時
27日 ㊦	事務局御講（朝勤行に併修）	7時
28日 ㊥	団参・聞泉寺（三島）門祖会（担当第一地区）	中止

16日㊦かながわ、17日㊦西部連合の皆さんです。千葉連合の皆さんは、18日㊥当日10時半、六角堂にてお参詣ください。

二、立教開宗記念口唱会

4月29日㊥㊦の5時間口唱会
は中止とします。今年は、日蓮聖人御生誕八百年の年であり、来年は清澄山旭が森で御題目を唱え「立教開宗」を宣言され七七〇年という年です。普段より、お祖師様の御心をお憶ひしてご信心をいたしましょう。

三、高祖大士御尊像お綿はずし

お綿はずしは4月中旬くらいまでに済ませて下さい。このご奉公を通して家族、次世代の方にも敬いの心を伝えましょう。おかとう布は3月初旬までに弘通部までお申し込み下さい。

寒参詣・成人式・授級褒賞 日教上人祥月御命日法要を新様式で

コロナ禍の収束への出口が見えぬ状況が続いておりますが、お寺での日常信行は感染予防対策を十分に行った上で奉修させて頂いております。出口に灯るひかりに向かつて進んでゆきましょう。

☆寒参詣スタート

1月5日から寒参詣が始まりました。さんは「コロナ禍の状況において

した。初日、第二地区長の五十嵐



御信心第一、そしてご法門通りを
実践することを再確認させていた
だく機会を与えて頂いたと前向き
に捉えましょう」とご挨拶（中村
黎子さん代読、写真①）

☆93名が授級褒賞

10日の開講記念総講で令和元
年度の授級褒章授与式が行われまし
た。今回、1級昇進は4名（写真②）
の皆さん。2級から10級まで89名
の方がご奉公精励の証として彰功
の記が御導師より授与されました。

☆日教上人祥月法要

17日は日教上人の祥月御命日法
要が奉修されました（写真③）。

御導師は、「第四世日教上人は、
佛立講をさらに発展させるために



令和3年1月行事報告

日 程	行 事	時 刻
元 日	⑤ 元旦会	7 時
	六角堂初お看経 (代表参詣)	10 時
1 日～7 日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間	
3 日	⑥ 初総講 (祝杯式、御導師ご挨拶はコロナ対策で中止)	10 時半
	日教上人御祥月御塔婆申込締切	
5 日	火 教講御奉公始め (御奉公成就言上)	
6 日	水 寒参詣開始	
9 日	⑦ 運営会議 (一部リモート参加)	9 時半
	事務局長候補者選考会	10 時半
10 日	⑧ 開講記念総講 (高祖大士御命日総講に併修)	7 時
	授級褒賞「彰功の記」授与式	
	成人式申込締切	
17 日	⑨ 日教上人御祥月法要 (開導聖人御命日総講に併修)	7 時
24 日	⑩ 成人式	7 時
25 日	⑪ 門祖聖人御命日総講	7 時
31 日	⑫ 佛立本旨講初灯明料奉納締切	
	初御供米料奉納締切	
	寒供養奉納締め締切	

※コロナ対策により御総講は朝勤行に併修。3日教講初顔合わせは行いませんでした。

東京でのご弘通を考えました。対立する法華宗五大本山の間を日教上人が調停し、教義論争を収束させ、その功績で日教上人以来の乗泉寺では、内側のご弘通だけを考えていただければよい、という環境を整えていただきました」とご功績を忍ばれました。

☆成人おめでとう

24日、例年は11時から御看経、式典を執り行ってきましたが、今年には朝の勤行に併修して11人の方が成人の御礼言上を行いました。

(写真④)

お寺参詣で嬉しくなりました



◆いつか一緒に参詣◆

多摩教区

Oさん

お寺参詣の時は、午前2時過ぎに朝刊が投函される音と共に起床。御宝前のお給仕をはじめとして、一日の日課をこの朝のうちに終え、5時20分頃に家を出ます。バスの中はいつも常連さん方が乗っていて顔馴染みになっていますが、この仲間からは、「貴女いつもニコニコしていますね！何処に行くの？」と聞かれます。「本駒込のお寺にお参りに」というとビックリしています。この人たちと一緒に参詣が実現する日を楽しみに励まさせて頂いています。

◆ライブ参詣でも嬉しい◆

練馬教区

Sさん

母が亡くなり、なにもしてあげなかつたという後悔の念でいっぱいでした。「お寺参詣することがお母さんが一番喜ばれることで供養になります」というご信者さんのアドバイスもあり、仕事でなかなかお寺でお参詣できなくても、今、ライブでお寺の朝参詣がさせていただけようになりました。1月3日は母の月命日です。ライブで御導師に言上していただいているところを家で視聴することができます。ライブ参詣ではありませんが、月命日にお参詣させてい

ただくことができ嬉しく思っています。

◆お寺は名医◆

かながわ南教区

Nさん

朝、目が覚めたら身体の調子が悪く、身体全体がだるくて困ったなあと思ったのですが、お寺に着きましたら、ご信者さん達の「ありがとうございます」という声が聞こえてきて元気をもらい、本堂に入りお題目をお唱えしますと、身体の不調は消えていき回復しました。お寺は私にとって本当に有り難い名医です。

「よろこび*のお講席風景」

一月分編集後記より

1月20日 西部連合甲御講にて

福岡教区 Mさん

LINE^{ライン}ライブで過去最高の15名の

お参詣がありました。
※LINE^{ライン}ライブとは、朝参詣ライブにすでに登録されている方なら甲お講の応援参詣ができるのですが、映像に写っているのはお導師のみ、というような一方通行の配信です。

また、本日はSさんには席主という大役の中で、さらに名古屋教区の他に水戸や福岡までを結ぶLINE^{ライン}ビデオ通話」をご手配いただきました。

※LINE^{ライン}ビデオ通話とは、招待した方同士で通話もできるタイプです。西部連合の皆様のごよこびも臨場感たっぷりに見ることができました。

本日のお講の中で「この携帯電話の向こうから名古屋のNさんが体験談発表してくれる日が、もう

すぐそこまで来ています」と、Sさんが、近い将来の展望を語って下さいました。実現したら、素晴らしいことです！これはまさに、西部連合と名古屋教区が今まで、ずっと一体となつてご奉公を重ねていらした成果ですね。

近未来映画の中の夢物語語のようだった遠隔地を結ぶ御講の交流が実現できています。コロナ禍をきっかけに、このように生活様式とお寺のご奉公が大きく変貌しようとしている事を実感します。

上の画面は、本堂から送られている様子を福岡のMさんが受けている所です。左肩のリストで北海道、鳥取、埼玉、世田谷からお参詣されていることが解ります。

トラブルから信心を教わった

所沢教区 Yさん

父、Yのモヤモヤ病から始まる闘病生活。母、K子の度重なる手術。この数年間で大変な状態を応援祈願いただきました。年末に向かつて、少しずつ明るい光が指してきました。まず、息子が推薦で高校進学が決

まりました。父親も退院して、元気で御宝前を守ってくれていきます。母の足の切断手術、そして、退院にあたって、介護のできる家を探しておりました。すると明るく、新しい大きな家がある、家賃も安いという有難

いお家が見つかりました。無事に引越しも終えて、病院から帰ってきた母が「こんな良い所があつたんだね、お計らいだね」と喜んでくれました。祖父から、父そして私と受け継がれたご信心です。大きなトラブルが続きましたが、それによって、ご信心の有難い事を改めて学ばせて頂きました。

次世代の皆さんとともに

杉並教区 Iさん

毎年11月12月になると、おちり払いのご奉公に教区内班内の信者宅を回ります。御本尊のお給仕はいつも御講師か数人の役中でさせていただいておりませう。なんとか次世代の方々にや

り方を覚えて頂いて今後のご奉公者に繋げさせていただきたいと以前からご祈願させて頂いていました。すると、昨年Nさんが参加してくれるようになりまし

た。今年からは、Kさんや本日の席主のHさんまでも、ご奉公に加わりお互いの家にみんなで集まってメモを取ったりして各々自宅の御本尊のお給仕をさせていただきます。ごいただくようになりました。ご奉公を始める前に御宝前にご挨拶をして、おちり払いのお給仕、



そして終了後の御懺悔のお看經まで、各自がさせていただけけるようになったのです。年に一度のことなのでみんな忘れてしまいそうと言いながら一生懸命ご奉公をさせていただいています。

私は見守り係として参加させていただき、3人の真剣なお給仕の姿に触れて、初心に戻って真摯な気持ちになり、また、明るい未来を感じて喜びでいっぱいになりました。今はまだ自分の家のお給仕だけですが、徐々に次世代の方々をお誘いして（来年はMさんをお誘いして・とご祈願中です！）皆さんで教区内班内のご奉公をさせて頂けるように更にご祈願を続けさせて頂きます。



献花奉納の悦び

私は乗泉寺時代から接待課のご奉公をさせていただき、お寺のご奉公と献花等の奉納が私の生き甲斐です。

前に病にかかり症状も思わしくないので入院を余儀なくされました。入院当初も最悪な状態の時に、御導師や信者さんが見舞いに来てくださったことは、大変ありがたく思いました。お寺の御宝前を荘厳にさせていただけるご奉公に感謝しています。今は御宝前からお計らいをいただいて元気に日常を過ごさせていただいています。

（練馬教区 Aさん）

スマホ便利アプリ

紹介コーナー

スマホ画面や動画を

簡単に録画する



スマホ画面に映っている静止画面や動画画面を簡単に録画しスマホに保存するアプリです。

このアプリはシンプルで使いやすい、初心者の方でも操作に迷うことなく録画する事ができます。また、編集の自由度も高く、動画のトリミングも可能です。

「妙應寺ライブ」を視聴される方が増えてきました。このアプリを使うと御参詣ライブの録画が可能になります。保存したファイルはカメラ写真同様、他の方にラインやメール等で転送できます。



上行所伝のお題目で人を救う

金長泉説



教化とは

教導転化で信者にすること

教化とは、教導転化のことであるとされています。教とは行くべき道を示すこと、導とは道引くという事で道に引き入れる、つまり連れていく事。転とは変えるという事で方向を変える、今まで誤って進んできた道を正しい道に進ましめる事。化とはあらためる一新するという事で、皆さんと同じように信者にする事です。

御利益談から学ぶ

これは以信得入（67頁）の御利

益談ですが、「荒樋鶴太郎は岩崎清苔（せいたい）の教化によって入信した。この人は35歳だがリュウマチの痛みで全身が不自由で困っているとこ

ろに岩崎と縁があつて信心をすすめられ、教えられた通りに唱えれば一週間で必ず治ると言われて決断した。一日一万遍の口唱を一週間つづけて全快した。かつて医者（い）は左眼は助けられるが右眼は見えない。腰抜けは立つたろうが足の歩行は自由にならないだろうと言っていた。しかし両眼は見える、両足は不自由にならずしつかり治った。教化の功德はこのような

ものだ」と述べられています。

教化で人を救う

このように教化とは上行所伝のお題目で人を救うことであります。教化の二字の中には、教え導き育てあげるといふわけがふくまれているのであります。

入信したからといって教化が出来たからといって喜んでばかりはおられません。親身になって面倒を見てあげ、御法様や御弘通のお役に立つご信者に育てさせて頂くことが大切であります。



日晨上人より学ぶ

『自他の喜び』

佐藤忠昇

私は平成元年に入寺致しましたので、直接日晨上人に御教導頂く事はありませんでした。

ですから日晨上人の要語録の中から、このコロナ禍の中だからこそ大切な自他の喜びについて書かれた文章掲載させていただきま

す。
「ありがとうございます」は

ニッコリ笑顔で

菩薩行とは、彼も喜び我も喜び自他の共悦を目標とする修行です。自己の立場や利益ばかりにとらわれて、他の喜びに心を配れぬ人は、信心上は未熟者です。

「自分の顔はこれ以上朗らかに出来ない、ほっておいてくれ」と周囲の人を不愉快にして平気である損な性分の人があります。

感謝の心を表す事が他に喜びを与える一つの要素ですが、「ありがとう」と怒ったような顔で言ったのでは、相手には喜ばれないでしょう。

ですから、他に喜びを与える修行ともなれば、顔かたちにも配慮がいられます。

また聞く方も、よい聞き手になることが喜びを与える道です。話の腰を折ったり、冷笑したり、ムツツリして聞いていたのでは、話し手はくさってしまいます。

一日三回は笑顔に

日蓮聖人は親に対する日常の心得として「せめてすることなくば、日に三たび笑えとなり」と言われて、笑顔でも孝行せよと教示くださいました。喜びを与える修行は、こういう配慮から始まります。

(日晨上人要語録62ページ、自他の喜び、より)

不安や辛いことの多い今だからこそ、この心がけを大切にしたいものです。





★こどもたちの会★

「みょうほうくしょう 妙法口唱い によってよろこ 生きる喜びはっけん を発見する」

<p>沢山お題目を唱えらると後は仏様にお任せするという気持ちを持つ事ができますよ!!</p> 	<p>⑥ 確かにそうですネ!!</p> 	<p>⑥ こんにちは! どうしたんですか? 元気がないですネ</p> 	<p>① はあ…。この所色々な小凶みや不安が重なってしまっ…</p> 
<p>あつたとしても、軽く済んでしまいます。</p> 	<p>⑦ 腰を低くして、いつも笑顔でいる人には病氣や災難の縁が近付いて来ません。</p> 	<p>大丈夫ですよ! 不安な気持ちになったら、お題目を唱えましょう!</p> 	<p>② そうですよネ! 何かあっても全てご法様にお任せでしたね!!</p> 
	<p>⑧ 欲得のご利益を目当てに信しても、なかなか苦しみから解放されないものです。</p> 	<p>? ? ?</p> <p>一体どうすれば信心を身に付けられるのでしょうか?</p> 	<p>③ 妙法を信じると一口に言いますが…</p> 
<p>本当のご利益とは、妙法口唱によって生きる喜びを見付ける事です。</p> 	<p>⑨ その喜びを見失わない様にならない!</p> 	<p>と、感謝の言葉を口にする習慣を付けましょう!</p> 	<p>④ まずは自分はいつも仏に守られて信じて</p> 
<p>そうです! そうすればお守りを頂けるものですよ!!</p> 	<p>⑩ ハイ! また今日からお題目口唱に励みます!</p> 	<p>もし苦しみが身に降り掛かっても、これは仏様が何かを教えているに違いないと受け取る事が大事です。</p> 	<p>⑤ 確かにそうなるよ、沢山の山坂も小怖くないですネ</p> 

夏季参詣に引き続き寒参詣もコロナ禍のお参詣と成りました。

この新しい生活様式の中の信心修行をどのようににさせて頂くかを、模索させて頂いております。ライブ中継、ユウチューブ YouTube等実施して御講、お寺参詣に参詣出来ない方々に参加して頂いておりますが、全体としては一部の方の参加に過ぎません。是非皆様より多くの方が信心修行に参加できる、アイデアを頂きたいと思えます。

ともあれ、一か月間のご奉公頂いた皆様に感謝申し上げます。

今しばらくは、この様な

状態が続くと思われませんが、

身体健全にてご奉公に邁進

させて頂きましょう。



事務局長 山本久男

轉教

令和3年3月1日発行 第23巻第3号 通算253号
編集兼発行人 山本久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人